

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (上川北部流域)

1 流域の特色(国有林 164千ha、民有林 161千ha)

本流域は、上川総合振興局管内北部の天塩川の流域の属する2市5町1村からなり、流域の地勢は天塩川上流の名寄盆地を中心として、東部は函岳、ピヤシリ山から天塩岳にかけて標高600～1,500mの北見山地が連なり、西部は標高400～700mの天塩山地及びその支脈によって囲まれ南北に細長く、これらの山地を水源として大小の河川が天塩川に合流して日本海に注いでいる。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

(1) 水源林等の整備

道北地方における厳しい気象条件を緩和し、良質な環境と水を供給する水源林等の整備、未立木地等の機能の低下した森林の良質な森林への再生・創造に努め、併せて、地球温暖化防止、生物多様性の保全、国民の森林とのふれあいを推進する観点から、地方自治体、森林・林業関係者、ボランティア関係者等との連携強化を図る必要がある。

(2) 間伐の推進

国有林面積164千haのうち約36千haを占める人工林は、間伐対象となる6齢級以上のものが約7割に達するなど、生育途上にある森林を健全なものに育成するとともに、地球温暖化防止にも貢献していくためには、間伐やカンバ等二次林の適切な密度調整を積極的に推進していく必要がある。

また、路網及び低コスト高効率作業システムに係る民有林と連携した技術交流会等の実施、間伐材の国有林治山・林道事業への積極的利用及び公共事業等への利用拡大、間伐材の新規利用に向けた技術開発、間伐材利用促進に向けたPR活動を通じ、間伐の推進を図る必要がある。

(3) 森林・林業に関する普及啓発

近年、自然保護や地球温暖化防止に対する意識は高まっているものの、森林の仕組みや林業の役割等に関する知識の普及啓発活動は必ずしも十分とはいえないこと、教育関係者や森林ボランティア団体から、森林教室等に対する強い支援要請があること等から、森林教室等の開催及び講師の派遣、森林ボランティア団体の行う行事への支援等をさらに充実させ、森林・林業に関する普及啓発を推進する必要がある。

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

上川北部流域における国有林に対するニーズや要望を把握するため、公共機関(支

庁、市町村、教育委員会、小中学校等)及び林業関係者等にヒアリング等により、平成22年1月から2月にかけて意見聴取したところ、ニーズ・要望等が以下のとおり46件(複数回答)寄せられた。

なお、要望は内容により、計画的な木材供給の推進、森林施業の効率化・共通化等の取組、林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成、安全・安心への取組、生物多様性に配慮した取組の推進、上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等、その他に区分した。

計画的な木材供給の推進

- ・地域の造材・加工・流通を民有林を含めた計画・管理にリーダーシップの要望
- ・エネルギー資源としての木質バイオマス資源の育成・保全、安定供給のための流域管理システムの構築
- ・需要に応じた安定的な木材供給体制の確立 外

森林施業の効率化・共通化等の取組

- ・森林施業の共通化、低コスト作業システムの導入等、情報交換の場を要望
- ・民官一体となった効率的な路網の整備
- ・所有の枠を越えた流域管理システムの構築 外

林業技術の開発・普及・啓発・林業事業体の育成

- ・国有林野事業請負事業体若手担い手に対する研修会等の実施
- ・緑の雇用対策・担い手の育成教育等に関わるフィールドの提供
- ・雇用対策の取組として林業従事希望者等の育成や研修会を要望
- ・林業技術伝承のために開催する森林整備等の勉強会・研修会への情報提供
- ・林業事業体のIT化推進など経営効率強化支援 外

安全・安心への取組

- ・地域住民への防災情報等の発信と森林保全事業の実施
- ・生物多様性、生態系を最重視した治山・治水事業の実施 外

生物多様性保全に配慮した取組

- ・天塩川流域全体を自然エネルギーによる環境負荷の少ない生活と生物多様性の保全をテーマにした自然公園、テーマパーク「National Bio Park」に
- ・個体数が増加したエゾシカ等の生態系に配慮した効率的な捕獲体制の確立
- ・環境調査の実施 外

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

- ・「天塩川流域森づくりの集い」関連への支援
- ・国有林の取組、活動等PRのための森林ツアーなどの実施
- ・森林環境教育の実施及び森林教室での植林の実施 外

その他

- ・ 治山工事等における木材利用の拡大
- ・ 長期安定した木材の供給及び保育事業の確保
- ・ 木質バイオマス資源を利用する事業を行う場合、国有林内での林地残材等の有効利用についての検討
- ・ 所有の枠を越えた流域単位の生態系管理者としての利害調整役・コーディネート役の要請
- ・ F S C 森林認証の拡大と P R 活動の推進 外

4 国有林野事業が率先して行う取組

計画的な木材供給の推進

ア) 目標

- ・ 流域での間伐材等の利用拡大
- ・ 未利用材利用等木質バイオマス資源の需要拡大に資する取組

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、森林・林業活性化協議会、関係業界、森林ボランティア団体等

ウ) 取組方向

- ・ 間伐材の国有林治山・林道工事等及び公共事業等への積極的な利用と間伐材の利用促進に向けた P R 活動の展開
- ・ 流域森林・林業活性化協議会、森林組合、林業関係者、森林ボランティア関係者等と連携した森林整備等の推進
- ・ 森林整備協定に基づく F S C 森林認証に関する取組の推進と普及啓発
- ・ 民国一体となったモデル事業の実践
- ・ 木質バイオマス資源の需要拡大に応じた林地残材等の活用に向けた取組

森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

- ・ 水源林整備協定に基づく民国一体となった森林整備の推進
- ・ 森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の推進
- ・ 低コスト高効率作業システムの推進

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、森林・林業活性化協議会、森林組合、関係業界等

ウ) 取組方向

- ・ 水源林である国有林と周辺民有林の水源かん養機能の維持増進を図るため、民国一体となった森林整備に取り組む
- ・ 森林整備協定締結等による森林共同施業団地設定の取組
- ・ 低コスト高効率作業システムの確立に向けた民国連携の現地検討会等の開催
- ・ 低コストで崩れにくい作業道などを主体とした路網整備の取組
- ・ 流域内の間伐等の推進状況の情報交換

林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成

ア) 目標

- ・ 合理的かつ効率的な事業規模、機械装備等を有する経営体質の強い林業事業体の育成
- ・ 林業技術の普及・啓発の推進

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、森林・林業活性化協議会、森林組合、木材業界等

ウ) 取組方向

- ・ 民有林と連携した技術交流会等の実施
- ・ 間伐材・道産材等を利用した製品開発等への支援及び普及宣伝
- ・ 施業モデル林設定の取組

安全・安心への取組

ア) 目標

- ・ 民国が連携した治山事業の展開
- ・ 砂防治山連絡調整議会の開催

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、森林・林業活性化協議会、関係業界等

ウ) 取組方向

- ・ 民国が連携した治山事業の情報交換等の実施
- ・ 民有林と連携した技術交流会等の実施

生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

- ・ 生物多様性保全に配慮した森林整備の推進
- ・ エゾシカ対策の推進

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、森林・林業活性化協議会、関係業界等

ウ) 取組方向

- ・ 動植物の保護・自然環境の保全等、生物多様性保全に配慮した森林施業・森林整備の取組
- ・ エゾシカ対策の実施

上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

森林環境教育の推進、自主的な森林整備活動へのフィールドの提供や技術の支援

イ) 連携・協力機関

関係行政機関、教育関係者、森林ボランティア団体等

ウ) 取組方向

- ・「ふれあいの森」における自主的な森林整備への支援・協力
- ・学校が行う森林環境教育への支援・協力
- ・「遊々の森」における森林環境教育の推進
- ・地域住民が参加する、植樹体験や森林体験活動への支援・協力
- ・教育関係者や森林ボランティア団体等へのフィールドの提供

流域名・流域番号	上川北部流域(003)	担当部署	上川北部森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		